

くりしま

《本園の教育目標》

- 元気がある ○自分のことは自分です
- 仲良く遊ぶ ○ものごとに興味・関心をもつ
- 思ったことを話し、人の話を聞く
- 体験や考えに感動する ○工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》

栗島幼稚園

検索

《Instagram》

kurishima1955



『 アルファ世代と呼ばれる園児たちの将来に幸あれ 』



～ X/Y(ミレニアル)世代の保護者の皆様とともに ～

園長 矢田 泰久

年が明け、令和4年(2022年)を迎えました。新しい年の幕開けです。お子様はじめ保護者の皆様におかれましては、希望と期待に満ちた新年を迎えられたことと存じます。ただ、未だ新型コロナウイルスによる感染、とりわけ新変異株の流行が懸念されます。そのような中ではありますが、本年もご家族の皆様、関係する皆様のご健勝と希望に満ちた良き一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、お子様の良き成長をご一緒に手助けし見守ってまいります。引き続き皆様方にはご理解とご協力をお願い申し上げます。



<2022 東武スカイツリーライン江戸川橋梁に臨む日の出>

さて、古代中国から伝わった暦(干支)では、今年寅年に当たります。保護者の皆様の中には12年に一度の年男・年女の方もおられるでしょう。また、そのご両親の皆様の中には、60年に一度である壬寅(みずのえとら)の方もおられることかと。特に壬寅の年に生まれの方は「母虎のように家族思いの優しい性格」と言われます。私の世代では寅年生まれの方は強さを強調されますが、家族思いで優しい一面もあることに同調します。とりわけ、還暦を迎えられ新たに赤ちゃんにかえられたと言われるこの年のご祖父母様には、ぜひお孫さんとご一緒に何らかにトライしていただければと思います。同世代にエールを送ります。

他方、暦ではありませんが、今小学生と幼児たちの世代を標記にあるアルファ(α)世代と呼ばれるようです。これは豪州発の米国で根付き、科学技術の進展や社会行動を反映した世代の呼び名です。1965年以降誕生した世代から順にX世代、1980年以降をY世代、1995年以降をZ世代と呼び、2010年以降誕生した現在はα世代(Generation Alpha)と呼ばれます。

α世代はデジタル世代です。情報機器のアイテムもパソコンからiPadやiPhone等の端末に移り、コンテンツもInstagramやYouTube中心の画像・動画に変わりました。この世代はこれからどのような価値観・消費傾向となるのかは未知数です。しかし、前のZ世代の影響を受け、多様性の受容に関心が高く、よりデジタルを使った創作に取り組んだり、自分の好みを尊重したりするのではないかと予想されます。また、ワークライフバランスを重視し、情報源はテレビや雑誌よりも自分の好きなインフルエンサーを選ぶため、マスメディア離れすると予想されます。モノよりは価値があるコト(サービスや体験)へ積極的に消費する傾向にあります。例えば、この世代に当たる小学生や幼児にとって、クリスマスプレゼントで欲しいモノやお年玉で買いたいモノはやはりデジタル商品ではなかったでしょうか……。

<1/7 雪景色となった早朝の園庭>

<2021/12/15 クリスマス会>



<2021/12/24 ほしくみクリスマス会>



昨年小学生を対象にしたある調査（「将来なりたい職業ランキング」2021）によりますと、将来就きたい仕事の上位に、男子はスポーツ選手や技術者傾向から警察官や消防士が上昇し、ユーチューバー志向も増えています。社会への貢献度が高いことやデジタルへの関心が高いことが伺えます。女子の場合はケーキ屋・パン屋、芸能人・歌手・モデル、看護師の上位は変わりませんが、男子同様、社会貢献度の高い警察官や医療関係職の傾向が上がっています。

他方、小学生をもつ保護者の皆様の多くがY世代（1980年頃～90年代中盤生まれ）と呼ばれ、幼少期に社会的不況を経験している世代で不安定な経済環境で育ったため、消費よりは貯蓄を優先し保守的で安定を重視する傾向にあります。また、人とのつながりやバランスを重視するX世代と異なり、個々の意見が強くリーダーシップを発揮できる特徴があります。このことから、男児をもつ保護者が就かせたい職業に1位公務員、2位会社員、3位医師、4位エンジニア。女兒の保護者は、1位看護師、2位公務員、3位医師、4位薬剤師と続きます。いつもの時代も世代間のギャップはありますが、顕著な傾向かなと思います。

現代に生きる学童期の子どもたちにとって、今の社会は不確定で未知なところが一杯です。今後この子らがどのような価値観・消費傾向をもつのかよくわかりませんが、一層デジタルと親しみ多様性の受容に関心が高くなり、デジタルを使った創作に取り組んだり、多様性を強要するのではなく自分の好みを尊重したりすることが予想されます。ただ、いつの時代も変わることない健康な体づくり、豊かな人間性の涵養を基盤に、幼児期に大切な土台づくりを果たし、将来に一層の祝福がありますことを切に祈り、教育・保育に邁進してまいります。

結びに、昨年1月8日都と近県3県に緊急事態宣言が発出されました。未だ変異株の動向により園活動も不確定な要素があり不安が募ります。しかし、不条理だらけの世の中ですが、厳しい冬の後には春がやってきて、耐えた先には必ずや希望の光明が来ると信じます。今年も子どもたちの心身の成長を楽しみに、皆様よろしくお願ひいたします。

【お知らせ】

- 1月付で年中すみれ組に女兒1名が入園しました。園生活に一日も早く慣れ、楽しく過ごせますようにと願ひます。

